

協働提案事業の評価について

NPO等活動推進協議会の評価結果は以下のとおりです。

平成28年度 協働提案実施予定事業（27年度継続提案）

事業名	すぎなみ戦略的アートプロジェクト	
実施主体	提案団体名	特定非営利活動法人 チューニング・フォー・ザ・フューチャー
	担当課	区民生活部 文化・交流課 文化振興担当
事業内容	地域の民間施設等を活用して、区民の創作作品の展示や発表の場を創出することで、地域の活性化を図るとともに、文化・芸術に親しめる環境を整備する。	
総合評価	B3	

【付帯意見】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」にかかる「特定非営利活動法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー」および「杉並区区民生活部文化・交流課文化振興担当」の協働提案実施事業について、「期待できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、数多くのギャラリー、サポーターの巻き込みが徐々にでき、初年度の実施の中で新たなニーズや課題を把握し、事業計画が作成されていると評価できる。ただし、ITスキルのサポートについても盛り込んでほしいとの意見がある。

目標設定については、ギャラリー登録件数、サポーター数について目標値を設定している点は評価できる。

協働の効果については、協働によりアーティスト、ギャラリー双方からの信頼感獲得などの効果も登録者の順調な増加に寄与し、まちなかギャラリーの登録数の増加、文化事業の底上げ等の効果が得られると評価した。

地域資源の活用については、地域のなかで活動しているアーティストや、ギャラリーという地域の資源が、当該プロジェクトを通じて新たなつながりができ、今後他の地域資源も取り込んだ発展が期待できる。

区民満足度については、区民全体の満足度という点では、普通であると評価した。ただし、横のつながりがなかったアーティストがウェブサイト等によりつながり、コラボやマッチングができるようになれば、より区民の満足度が高いアートが届けられる可能性があるという意見があった。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、これまでの経験、実績を活かせば次年度の事業に十分活用できると評価した。ただしITスキルがボトルネックとなっている。ホームページの開設により区内でのアートイベントが10月から検索可能になり、次年度は運営効率の改善等をしてほしい。事業の拡大に伴いサポーターやボランティアの活用が重要になってくる。

計画性については、情報収集を早めにする、ITのサポートによる負担は他のNPOとの連携により支援等と事業計画を的確に行うように努力している点は評価できる。

経済性については、自立の可能性を考え、協賛金の獲得はもちろんのこと、その他の可能性も見据えての活動となっていると評価した。ただし人件費の比率がかなり高いため詳細な内訳もあったほうがよいとの意見があった。

創造性・新規性については、まちなかギャラリーの質の向上、隣接区のアートイベントとの連携等積極的な内容になっている。関係者マッチングイベントや「アートコンシェルジュ(仮)」などは今年度の活動を土台としたステップアップの活動であり、期待したい。

継続性については、まちなかギャラリーの登録が増えれば区内全域への効果が期待できる。ただし、地域ブランドの開発・拠点を長期的な目標にするのであれば、それに合わせた体制やストーリーを組んでいくべきという意見があった。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

杉並区をアートなまちとして構築するという発想は評価できる。もともとデザインを得意としこれまでも区の制作物に関わってきているだけあってPR、制作物の質は高い。アーティストやギャラリーの掲載数が増え、検索性なども高まれば、認知促進や集客に有効な手段となることを期待したい。ただし、印刷物の発行に加え、サイトと紙媒体を連動させる取り組みも必要である。

※評価項目及び総合評価基準は裏面「協働提案評価集計表」のとおり

平成28年度協働提案実施予定事業

事業名	すぎなみ戦略的アートプロジェクト
-----	------------------

提案団体名	特定非営利活動法人 チューニング・フォー・ザ・フューチャー
-------	-------------------------------

担当課	区民生活部 文化・交流課 文化振興担当
-----	---------------------

No.	評価項目	評価のポイント	評価
1	課題・ニーズ把握	地域の課題・区民の要望を的確に捉え、課題の解決によって公共的利益が得られるか。	C1
2	目標設定	課題解決のビジョン、具体的な目標設定があるか。	B3
3	協働の効果	区や団体の単独実施よりも、協働で事業等を実施することで、より質の高いサービスが提供できるなど、より効果が得られるか。	B2
4	地域資源の活用	地域資源(自然環境、産物、施設、文化、歴史等)を有効に活用しているか、また、地域の人材を活用しているか。	B1
5	区民満足度	協働で事業が行われることが区民の理解を得られ、また、事業の実施により区民の満足度が向上するか。	C1
6	団体の事業実現力	提案団体は、事業を実施するための必要な知識・経験・実績・特性(強み)を有しているか。	C1
7	団体の事業組織力	提案団体は、事業を実施するための実施体制(人員配置、財務状況、他団体との協力ネットワーク等)を有しているか。	C1
8	計画性	事業計画・スケジュール・実施場所等が実行可能なものとなっているか。	B3
9	経済性	事業経費の規模、資金計画、経費分担、経費内訳、算出根拠等が明確かつ適切か。	C2
10	創造性・新規性	新しい発想、アイデアがあり、課題解決に向け積極的なチャレンジ姿勢を持つなど、将来への期待感があるか。	B3
11	継続性・波及性	一時的な事業で終わるのではなく、将来的に発展・継続する可能性があり、地域への波及効果が期待できるか。	C1
総合評価 (評価員6名の平均)			B3

※委員評価点

A…特に期待できる(5点) B…期待できる(4点) C…標準的である(3点)

D…あまり期待できない(2点) E…期待できない(1点)

※総合評価基準

A	B1	B2	B3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	E	
特に期待できる	←期待できる→			←標準的である→			←あまり期待できない→			期待できない	
5~	4.44	4.14	3.74	3.44	3.14	2.74	2.44	2.14	1.74	1.44	
	4.45	~4.15	~3.75	~3.45	~3.15	~2.75	~2.45	~2.15	~1.75	~1.45	~1